

平成27年2月25日

平成26年度 知立市まちづくり委員会

提言書

知立市まちづくり委員会

知立市まちづくり委員会 プロジェクトシート (Aグループ)

日時点	2015年 2月 25日
メンバー	牧、増田、小川、近藤、小橋、中島
大きなテーマ	知立駅を活かした魅力あるまちづくり

取組のタイトル	知立駅における活動できる・交流できる場所の確保	
現状	知立駅は便利な交通結節点として、現在も多くの方が利用しています。知立駅が新しくなるのを契機に、多くの市民や外から訪れる人が、鉄道利用以外の目的でも知立駅に集まり、まちに出て活動してもらうために、協働の立場でまちづくりに取り組み、知立駅と周辺の魅力を高めて行こうとする視点が不足していると思われます。	
解決したい課題	① 知立としての風情や人間味、歴史や文化を大切にする視点を具現化する駅周辺のまちづくりの実現 ② 子供、女性、お年寄りにやさしいまちづくりの実現	
解決の方法	どこで	知立駅前および知立駅周辺
	どんなことをするか	<p>(1) 課題①の具現化については</p> <p>※こんな事をするから一緒にやりましょうよ!</p> <p>A: 駅前開発中の空地を利用したイベント開催があります。</p> <p>B: 『知立駅周辺再開発の目玉ビル』の空スペースを利用したイベント開催があります。</p> <p>(イベント具体例)</p> <ul style="list-style-type: none"> *道の市 *熱気球 *カートでの実践交通教育(子供&年寄) *クラシックカー、レースマシンの展示 *吹奏楽、ジャズ、フォーク、たいこ、ミニSL *各種コンテスト (ダンスコンテスト、マスコットキャラクターコンテスト) *こどもフェスティバル *〈ちりゅっぴ〉の広報活動(Bグループと連携) *外国の方が主催するイベント *伊勢のおかげ横丁や金沢の近江町市場を参考にしたフリーマーケットイベントを行う <p>(2) やさしいまちづくりの実現をするためには</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学生などいろいろな方たちに意見を聞く必要がある 愛教大、山本学園など、その他 ・こどもまちづくり委員会の結成なども良い

プロジェクトに関わる主体とその役割	※該当する箇所に、各主体の役割を記載して下さい。	
	まちづくり委員会の役割	<p>[事例研究会] (仮称) の発足における中心的役割を担う。</p> <p>※(解決の方法)実施に向けて、まず幅広い層の人々の参加をうながしモデルケース、モデルエリア等を施行する。</p>
	地域組織・市民活動団体などの役割	<p>事例研究会メンバーとしての参画</p> <p>(例) * 愛教大、山本学園、知立高校、知立東高校</p> <p>* 旧まちづくり委員会メンバー</p> <p>* 関連するNPO法人・ボランティアグループ</p>
	市民の役割	<p>同上</p>
	企業の役割	<p>主旨に賛同する企業の掘りおこしから始める</p>
行政の役割	<p>(1) 事例研究会に対しての積極的な支援と参画</p> <p>(2) まちづくり委員会と事例研究会との性格づけ (関連性) を始めとする諸問題解決における協同策定を実施して行きたいと考えております。</p>	

知立市まちづくり委員会 プロジェクトシート (Bグループ)

日時点	平成27年 2月 25日
メンバー	岩堀嘉仁、竹内謹戈、倉知紀子、杉浦葉子、(辻村文良)
大きなテーマ	市外の人が何度も訪れたいまちづくり

取組のタイトル	観光素材(名所、旧跡、お祭り、イベント等)の 「掘り起し充実」と「大々の観光PR戦略」 の展開
現状	★現在の知立には、他市よりも優れた「観光、イベント」がある (1)知立の観光名所、旧跡(知立神社、八橋杜若、弘法山…他) (2)知立の祭り、イベント(知立祭り、杜若祭り、花菖蒲祭り、秋葉) (3)知立の名産物(あんまき、うなぎ、ところてん、とりめし他) (注)これらの事が、市外は勿論、市民にもあまり知られていない
解決したい課題	(1)上記の現状課題をもっと多くの市民、市外の人を知って もらいたい (2)一人でも多くの人々が何度でも知立市を訪問したくなる様な 『大々のPR戦略』 の展開
解決の方法	どこで
	どんなことをするか
	(1)『市民⇄行政⇄政・財界』の三位一体で協議 ⇕ (2)『PR戦略』拠点での展開 ① 「知立観光PRプロジェクトチーム」 の設立・展開 各パート(市民有識者、知識人、各種団体)等の集団より 募集、選択。 ②PR拠点としての 「観光PR事務所」 の早期設置 ③知立マスコットキャラクター 「ちりゅっぴ」 を尖兵とした 観光PR立体作戦、 「ちりゅっぴ応援隊」 の結成と活動 (例)ちりゅっぴ誕生会、ちりゅっぴ音頭・踊り、特別PR隊 ちりゅっぴの家、ちりゅっぴ握手会…他 ④ 「年間祭り・イベント総合カレンダー」 の作成 (注)資料別紙 各種イベントには「ちりゅっぴ」に参加して頂く ～ちりゅっぴに会いに行こう～

※該当する箇所に、各主体の役割を記載して下さい。	
プロジェクトに関わる主体とその役割	まちづくり委員会の役割 『知立市観光 PR プロジェクトチーム』の設立と運営展開に対して 他部門（行政及び各種団体）との協働による 『積極的、中心的役割』 を果たす
	地域組織・市民活動団体などの役割 『知立市観光 PR プロジェクトチーム』への参加 観光地（名所・旧跡等）及び祭り、観光イベントに関連知識を持っている各種団体
	市民の役割 ★ 知立市の名所・旧跡を熟知し ★ 一人一人が「 知立市広報マン 」として ★ 『 知立市観光 PR 隊ボランティアグループ 』の結成、参加
	企業の役割 ★ 知立市 PR イベントへの積極的参加 ★ 「ちりゅっぴ」の積極的活用による知立 PR （例）・社内イベントにちりゅっぴを呼ぶ ・お菓子などの産物にちりゅっぴの刻印をする ・ちりゅっぴを特別顧問として雇う…等
	行政の役割 ★ 知立市観光 PR プロジェクトチームに対する 『積極的参加』と『アドバイス』 ★ 行政内の各課（文化関係）との総合作業 ★ 縦割り行政の改善、改革 （例）文化課、都市計画課等の連動作業による対応 ★行政の積極的活動(企画力、行動力、スピード)

③「知立市観光PRプロジェクトチーム」設立の提案

<将来の目標>

知立市が、これから伸びて行くためには、種々な政策・施策のなかで、特に知立の特性となる「観光産業」の育成・ピーアルが、重要なものとして位置づけられる。

しかも、それは今までの様な、単一的・分割的な育成・PRではなく文化、経済を包含した総合的・横断的な「総合観光産業」の育成・PRが必要である。

知立市観光PRプロジェクトチームの結成

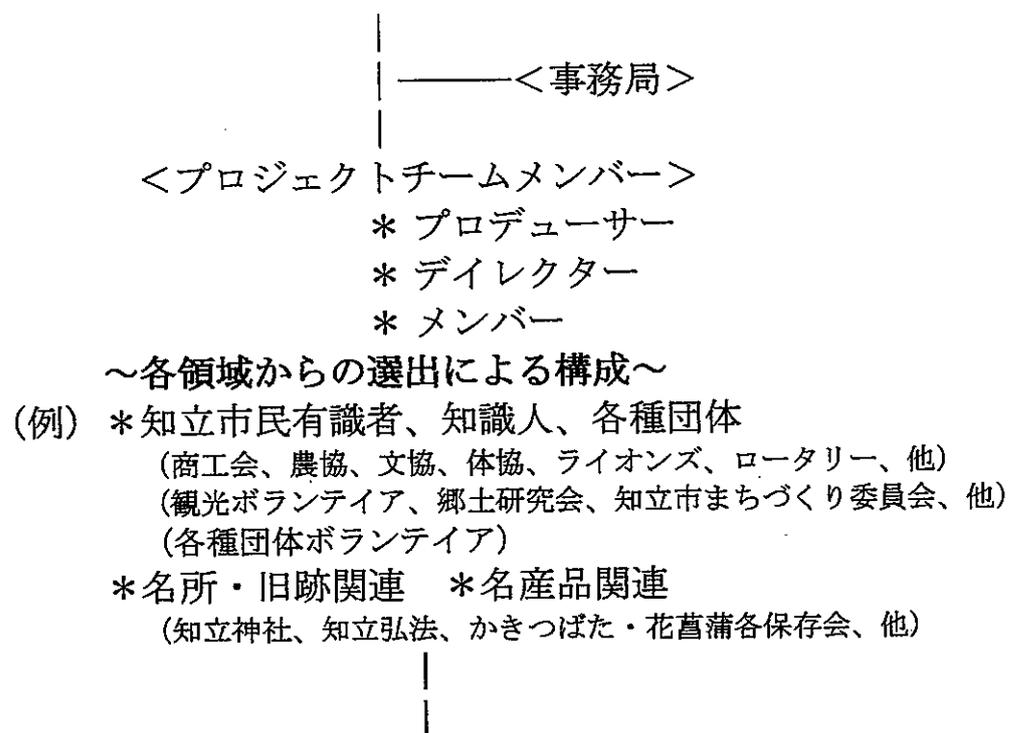
“知立市観光協会”を中心母体とし、行政、市民、政・財界が、一体となって各領域部門より選任されたメンバーによる特別チームの結成！

「総合観光産業・発掘・育成・PRプロジェクトチーム」

=以下<知立市観光PRプロジェクトチーム>と呼ぶ=を結成し上記の目的を達成するために総合的企画・運営・実施を展開する。

<知立市観光PRプロジェクトチームの構成>

知立観光協会（行政、市民、政・財界）



平成27年度は「知立観光PR元年」

- 要因＝・山車・文楽・からくりのユネスコ登録
・ マスコットキャラクターの誕生
・ 観光協会関連（60周年・事務所開設）

<<参考資料>>

①知立市観光PR年間カレンダー(案)

～知立の代表的「名所・旧跡」、「お祭り・イベント」、「ちりゅっぴスケジュール」を記載～

～ちりゅっぴに会いに行こう～

2015 平成27年 1 January

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
28 大安	29 赤口	30 先勝	31 友引	1 先負	2 仏滅	3 大安
弘法さん道の市 14:00～ 遍照院				初詣(知立神社) 22:00～ 知立神社	12:00～ 知立神社	
4 赤口	5 先勝	30 仏滅	31 大安
ちりゅっぴ誕生会 14:00～ パティオ知立		普通のカレンダー 大人が使いやすいように空白を多くする ごみの分別等の情報もあると良い			弘法さん道の市 14:00～ 遍照院	知立よいとこ祭り 14:00～ 市役所前
		知立市のお祭り・イベント情報を掲載				
		ちりゅっぴのスケジュール情報を掲載				

お祭り・イベント	日程	名所・旧跡
1. 初詣	1月中	知立神社
2. 知立弘法	毎月命日	遍照院
3. 道の市	毎月	弘法笑店街
4. 杜若まつり	4/27～5/26	無量寿寺(本殿、業平毎歳忌)
5. 知立まつり	5/2、3	知立神社(本殿、多宝塔、茶室)山車、からくり他
6. 花菖蒲まつり	5/25～6/20	知立神社外苑
7. 知立よいとこまつり	8月中旬	市役所周辺
8. 秋葉まつり	9月中旬	知立神社
9. その他	名所・旧跡・イベント(東海道松並木、馬市…等)	

②知立市マスコットキャラクター「ちりゅっぴ」の活用企画案

- (1)「観光PRカレンダー」総合案内キャラクターとしての活動
市内イベントには全て参加し、年間スケジュールを立てる
- (2)行政での活用(市外対策)
市民(子供など)からちりゅっぴ活用方法のアンケート等
- (3)市民での活動
ちりゅっぴに入る人を募集(ボランティア)等
- (4)企業での活動
一日社長、一日所長など
- (5)いつでも会えるキャラクターに
「ちりゅっぴはどこに行けばあえるの?」(3歳)という子供が多数

知立市まちづくり委員会 プロジェクトシート（cグループ）

日時点	27 年 2 月 25 日
メンバー	藤井、松川、山中、渡辺、兼子
大きなテーマ	暮らしやすい地域づくり

取組のタイトル	「池鯉鮒塾」を設立する。（仮称） （みんなが参加できる地域活動の推進）
現状	<p>団塊の世代が定年を迎え、高齢者と言われる世代が急増しています。わが知立市でも毎年、高齢者人口が急激に増加しています。高度成長社会の担い手として懸命に働き、誰もが必死で家族を養ってきた人々です。仕事に追われ、地域行事に参加が少なかったが、今、やっと時間に余裕もでき、地域活動に貢献をという気持ちはあるものの、既存の地域の組織へは新参加者のようになんとなく参加しづらく躊躇します。外出の機会も少なく、人と会うこともめっきり減ることにより、閉鎖的な生活になりがちです。</p> <p>団塊の世代の新しい高齢者たちが、今、地域社会に新たな旋風を起し、自分たちで、自分たちのための新しい高齢者社会を築くことにより、若者たちが、自分たちもあんな有意義な人生を全うしたいと思うような崇高な高齢者になりたいものです。そこで、そのために普段の自己健康管理はもとより、特に認知症の予防には回想法を活用して、一人でも多くの人が、元気な高齢者として、元気に地域活動に参加しながら、自分たちの町を自分たちの手でみんなで見守っていけたらと思います。</p>
解決したい課題	<p>① 個人情報保護法により参加者を募る活動にブレーキがかかっている。</p> <p>② 高齢者も若者も誰でも自由に参加して闊達な討論のできる場がない。</p> <p>③ コミュニティーで大切なことは、仲間と思いを語ること、何でも聞いてあげる耳を持つこと、思いっきり泣き笑いすることでみんなでおなかの中からストレスを全部抜くことのできる憩いの場所が必要です。</p> <p>④ 高齢者は健康管理と認知症の予防を学べる場所と指導者が必要です。</p> <p>⑤ 定年などで時間的に余裕のある人たちが集い語る場所、学ぶ場所、自分たちで何かを作ったり、研究ができるなど参加者みんなでワクワクしながら模索して、各自が持つ経験やスキルを生かし、新しい発想、発見を生み出すことにより新しい生きがいをつくるため学びの場が必要です。</p>
解決の方法	<p>① 公共の町内公民館、使用料無料の施設をさがす。（市内）</p> <p>② 無人の古民家を持主に交渉して借用する。</p>
どこで	

	<p>どんなことをするか</p>	<p>〇〇塾・・・「池鯉鮒塾」を設立する。(参加者で塾名は決める。)</p> <p>・みんなで知識を持ち寄りしてみんなで構成する真面目な雑学塾を設立する。 誰もが講師であり、誰もが塾生であるという、お互いに学び合う大人同士の塾です。</p> <p>＜内容＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認知症の予防法を学び実践する 回想法を地域で実地する。 ・自由討論の場を作る。(おしゃべり、笑い、聞き上手の訓練) ・歌声喫茶をする。(みんなが歌える昭和の歌声を復活する) ・サークル作りを支援する。(趣味の読書会、映画鑑賞、絵画鑑賞 etc) <p>＜回想法とは＞</p> <p>回想法とは、心理療法の一種で、過去の体験などを話すことで脳が刺激され本人が癒される療法です。回想法には、脳を活性化させ、認知症の効果を遅らせる効果が認められています。昨今は、各市町村で取り入れられており、その効果もなかなか評判もいいようです。家庭でも積極的に取り組むとよいでしょう</p>
<p>※該当する箇所に、各主体の役割を記載して下さい。</p>		
<p style="writing-mode: vertical-rl;">プロジェクトに関わる主体とその役割</p>	<p>まちづくり委員会の役割</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・〇〇塾（池鯉鮒塾）みんなで学ぶ雑学塾を設立する。 ・会員の募集（塾生、塾講師） ・塾の活動目的を確立する。 ・回想法の研修会を開催する。回想法を定着させ、認知症を予防する。 ・歌声喫茶を定期的に開催し懐かしい70年代の歌声で心を癒す。 ・交流会の場を作り、まちづくりへの意見を高齢者も若者も闊達な意見交換し熱い知立市にする。
	<p>地域組織・市民活動団体などの役割</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・多くの人に参加していただけるように依頼してください。 ・「回想法」の研修に皆で参加して認知症の予防法を学んでください。 ・参加できる人に積極的に呼び掛け、みんなの大きな歌声が知立中に響くほど楽しい町にするように心がけてほしいです。
	<p>市民の役割</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・何かしたいがと思っている人は積極的に参加する。 ・「回想法」の研修に参加し将来認知症にならないように自分自身に認識する。 ・億劫がらずに、家庭の中にとじ込まら時に、毎日外出を心掛ける。みんなとおしゃべりすることだけでも、心の健康を保つことを知る。 ・今、ここに参加することがまず、あなたの活動の一步です。 ・自分の町を自分たちで守る意識を持ってもらいたいです。

<p>企業の役割</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 定年される職員さんに地域活動参加を指導していただきたいです。 ・ 地域の域活動に惜しみない協力と支援をお願いします。 ・ 地域活動学習に会社見学等で少しでも市民に学ぶ機会を与えてほしい。 ・ この会に管理職の方々も積極的に参加してほしい参考意見をいただきたいです。
<p>行政の役割</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 他市との多くの情報を活発に行い、惜しみなく提供し、最低限の軌道修正をはかりながら、真面目な活動として奨励する。 ・ 活動に積極的に参加して、市民と同目線で活動して、苦楽を共に学んでほしいです。 ・ 官民の協働の天秤が均等化することが市民地域活動の励みになります。 ・ 市の広報紙で積極的にアピールして参加者を募ってほしいです。

知立市民まちづくり委員会 プロジェクトシート

日時点	27年 2月 18日 (水)
メンバー	藤井敏彦・松川正弘・山中邦康・兼子しづ江・渡辺博樹
大きなテーマ	住民の手でまちづくりを進める知立づくり

取組みのタイトル	市内各町内に「表彰制度」を広め少しでも多くの「善行者・篤行者」が増える事を願いたい。	
現状	先に現状を把握する為に「委員会」の皆様へ調査依頼を致しました、その「集計表」にもとずき検討してまいりました、「我がグループ」の命題(4)に『頑張っている人を応援する仕組みづくり』と云う項目がありますが、先に「まちづくり委員」に調査した段階で「表彰制度」の有無についての調査では「有」は23%でした、もう少しはあると思っていたが以外に少なかった。	
解決したい課題	この事については市内全域で行われる事を希望する、「表彰」そのものより町内に『この人はこんな事をしてくれてますよ』と「広く公表」することで「善行者の名誉を高めること」と何より大切なことは「相乗効果」を期待したい、人を表彰(褒める)することは褒める側も褒められる人も気持ちの良い事です、又住民子供達ともコミュニケーションにも繋がると思います。	
解決の方法	どこで	市内全域の「町内(地域)」で同じ様な環境を作る。
	どんなことをするか	人の行いが「地域」にとって「どれだけ良かった」かについて、「誰が・何時・何処で・何を」したか「一定の基準」に従い「回覧板」「掲示板」等に「公表」した後に「褒める(表彰)」事であるが、地域の特性も考慮した「一定の基準」をつくる事から始め一人でも多くの人「表彰」されればそれだけ地域が良くなる事である。 賞品にお金を掛ければ良いと云うものではない、いかに「賞状」に魅力を感じてもらうかが大切である。

※該当する箇所に、各主体の役割を記載して下さい。		
プロジェクトに関わる主体とその役割	まちづくり委員会 委員会の役割	「役所担当部署」とも打ち合わせし、区長会等に啓蒙したい。
	地域組織・市民活動団体 などの役割	人を表彰(褒める)ことは総ての面で「プラス」にはたらくことを考えて動き易い・働き易い環境を作るための協力をして欲しい。
	市民の役割	自分が地域のため・人のため・に何をすれば良いか考える事も大切だが、まず自分が人に迷惑を掛けていないか、どれだけ世話になっているか、自分本位になって居ないか考えて見る事も必要かと思う。
	企業の役割	地域が「企業の利益」を見えない部分で担っている事もあると思います、地域の催しごとにも積極的に参画して頂きたい
	行政の役割	「表彰」そのものは良いことの「裏付け」があって行われるのであるから「公表」の部分では効果を考え地域の事も広報で扱う等バックアップして欲しい。

知立市民まちづくり委員会 プロジェクトシート

日時点	27年 2月 18日 (水)
メンバー	藤井敏彦・松川正弘・山中邦康・兼子しづ江・渡辺博樹
大きなテーマ	住民の手でまちづくりを進める知立づくり

取組みのタイトル	町内活動の情報源としての「回覧板」の補完として「掲示板」の改善及び増設。
現状	<p>「市民生活」において市内何処に居ても同じ様な環境であることが望まれるところですが、</p> <p>実際は「市」の中心部と周辺部では施設等物理的にいたし方のない事もあります、しかし「一般的な生活面」でいろいろ違いがある事が分かりました。</p> <p>〔別紙に調査集計表〕</p>
解決したい課題	<p>それぞれの町内での「行催事」や「決まり事」が町内住民に周知されている事が大切であり、これが基本であり総ての根幹であると考え、</p> <p>先に現状を把握する為に「委員会」の皆様へ調査依頼を致しました、その「集計表」にもとずき検討してまいりました、「我がグループ」の命題(1)に『町内活動の情報をみんなが知っている地域づくり』</p> <p>があります、情報源にあたるものに現時点では「回覧板」があります「回覧板」は町内情報源の最たるものと考えますが、一部の地域に置いては「60%」の家庭が「町内会費」を納めない、その結果 当該家庭には回覧板は廻りません、かりに(町民5,000人であれば3,000人が見られない)と云うことである、これは程度の「差」こそあれ「他町」でもあると思われる、「知りたくても」「知る機会が無い」事になる、まずは町内の動向を知る事から始まると思います、その方策として考えます。</p>
解決の方法	<p>どこで</p> <p>市内全域の「町内(地域)」で同じ様な環境を作る。</p> <p>どんなことをするか</p> <p>「知る・知らない」は個人の自由であるが、「知る機会」を作るためには一番速く簡単な方法として、現在ある「掲示板」に「回覧板部分」を掲示出来るスペースを増設する事です、また現在市内には「ミニバス」が走っています、そこには「バス停」がありそこに移設する方法もあり</p>

ますしかし、調査時点での問題点もあります。
調査が実際に「町政」に携わっている方々の調査では無く「まちづくり
委員」であったので「信憑性」を問われた場合の事も考慮し、

今一度実際に「区政」に関係のある「区長」さん及び「市政」の「役所担
当部署」のご協力を願い「信憑性」を高めた上で意見奏上をしたい。

【市内34町 昭和1～9 計43町 ⇒⇒⇒ 区長31名】

【まちづくり委員 22名 [1町に複数委員] 委員16町】

解決の
方法

どんなことをす
るか

※該当する箇所は、各主体の役割を記載して下さい。

まちづくり委員会の役割

出来るだけ多くの情報を集め現状と照らし合わせ、改善すべき事項は役所の担当部署とも打ち合わせし、他の委員会「グループ」との相合性も考慮し短期的に改善できる案件と、長期にわたる案件等を考慮し意見奏上したい。

地域組織・市民活動団体などの役割

「まちづくり委員」会から「行政部門」を経た情報、決定事項等はいち早く傘下の関係者へ伝達され協力依頼をお願いしたい。

市民の役割

取り上げられた「改善、新規」事項については小さな単位である「町内会」からの協力を得なければならないが少しでも多くの人の協調が必要である。

企業の役割

企業には「個人企業」「法人企業」と種々ありますが「従業員」の方々を始め所在する地域の方策にご協力をお願いする必要があると思います。

行政の役割

「市内在住の住民」「企業」に広報等を通じて周知を図る等の「バックアップ」をお願いしたい。

プロジェクトに関わる主体とその役割

調査お願い事項

- a 1 回覧板について、
 ※ 貴方の組は何世帯くらいですか
 ※ 所定の範囲を何日位掛かって廻りますか。
 2 掲示板について、
 ※ 掲示板は町内に何箇所ありますか。
 ※ 掲示物は(市・町・両方)いずれですか。

世帯
日位

箇所

市—① 町—② 両方—③

A 人目につきやすい所ですか、たとえばどんな場所ですか。

公園—① 人が集まる所—② その他—③

B ほかに、こんな所にあつたら良いと思われる場所がありますか。
 (例 ミニバス停留所)

- b 1 町内の「行催事」について、
 町主催(市共催含)他 (他にあれば具体的に別記頂ければ幸です)

○印をお願いします

(他にあれば具体的に別記頂ければ幸です)

- ※ 地域内安全パトロール(青色・自転車) [毎日・隔日・他] 有 無
- ※ 篤行(町内のゴミ拾い等頑張っている人)者の表彰 有 無
- ※ 防災・避難訓練 有 無
- ※ ゴミ集積所当番 有 無
- ※ 神社・公園等の清掃 有 無
- ※ 生涯学習(種々のテーマを決め実施) 有 無
- ※ 町民運動会(学区小学校にて) 有 無
- ※ ラジオ体操(公園利用) 有 無
- ※ 盆踊り(公園利用) 有 無
- ※ 祭り(餅投げ・神輿等) 有 無
- ※ 町民(文化祭・芸能祭) 有 無
- ※ 高齢者サロン(種々のテーマを決め実施) 有 無
- ※ 健康講座(テーマは都度変わる) 有 無
- ※ 知立みなみスポーツ文化教室(健康ヨガ、太極拳他4科目) 有 無
- ※ 町民ソフトボール大会 有 無
- ※ ソフトバレーボール大会 有 無
- ※ 三世代輪投げ大会(小学校区3町) 有 無

- 2 老人クラブ等主催
- ※ グランドゴルフ 有 無
 - ※ ゲートボール 有 無
 - ※ ペタンク 有 無
 - ※ カラオケ 有 無
 - ※ 舞踊 有 無
 - ※ 旅行(日帰り1泊1他町と合同1計3回) 有 無

- 3 子供会等主催
- ※ 夏祭り(町内とは別途) 有 無
 - ※ クリスマス会 有 無
 - ※ お別れボーリング大会 有 無
 - ※ 公園の草取り・廃品回収 有 無

これより右は集計

A氏	B氏	C氏	D氏	E氏	F氏	G氏	H氏	I氏	J氏	K氏	L氏	M氏	N氏	O氏	P氏	Q氏	R氏	S氏	T氏	U氏	知立団地
12	10	13	13	13	12	6	150	9	8	150	12	28	10	12	11	12	61	な	620	/	2000
3	1	5	10	9	4	10	6	8	2	/	/	3	1	12	7	4	10	し	/	/	/

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	⑳	㉑	㉒	㉓	㉔	㉕	㉖	㉗	㉘	㉙	㉚

別記

①	/	/	②	③	③	③	③	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

別記

①	/	/	②	③	③	③	③	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

有—○ 無—× 無記入—/

○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計
16	1	5	22	73	5	10	7	22	23	16	3	3	22	73	13	6	3	22	59	14	4	4	22	64	13	2	7	22	59
13	6	3	22	59	19	1	2	22	86	19	2	1	22	86	16	5	1	22	73	17	4	1	22	77	12	3	7	22	55
14	3	5	22	64	6	9	7	22	27	11	5	6	22	50	7	10	5	22	32	5	11	6	22	23					
14	2	6	22	64	10	6	6	22	45	6	6	10	22	27	12	3	7	22	55	6	7	9	22	27					
7	9	6	22	32	12	4	6	22	55	7	8	7	22	32	10	4	8	22	45										
10	4	8	22	45																									

調査票集計表					命題該当区分					
①	②	③	4以上	計	1	2	3	4	5	
4	4	2	7	5	21	○	○			
5	3	9	5	22	○	○				

○	×	/	総計	%	1	2	3	4	5
16	1	5	22	73	○			○	
5	10	7	22	23	○			○	
16	3	3	22	73	○	○			
13	6	3	22	59	○			○	
14	4	4	22	64	○	○		○	
13	2	7	22	59	○		○		
13	3	6	22	59	○	○	○		○
19	1	2	22	86	○	○	○		○
19	2	1	22	86	○	○	○		○
16	5	1	22	73	○	○	○		○
17	4	1	22	77	○	○	○		○
12	3	7	22	55	○	○	○		
14	3	5	22	64	○	○	○		
6	9	7	22	27	○	○	○		
11	5	6	22	50	○	○	○		○
7	10	5	22	32	○	○	○		○
5	11	6	22	23	○	○	○		○

A 人目につきやすい所ですか、たとえばどんな場所ですか。

B ほかに、こんな所にあつたら良いと思われる場所がありますか。

- a 公園にある・あまり目立つ所ではない→アパート前、
- b 集合住宅の団地の階段下、
- c 公民館前、
- d 道沿い(車道側から見るので危険)
- e 空き地になっていて比較的人目につきやすい所、

- a 病院、コンビニ、Gスタンド、駅、飲食屋近辺、
- b 公園等、
- c 寺社前
- d 小学校の前あたり

別項目

各項目についてもそれぞれわが町ではこんな方法でやっています等ご意見も歓迎します、

1 町主催(市共催含)他

- 1、町内会に入っていないので解からない。
- 2、2年に1度赤瓢箪祭りで知立神社まで歩く。
- 3、小運動会(主として主婦・子供対象)

2 老人クラブ等主催

- 1、老人クラブと云うと現在65才前後の方の参加は少ないと思います。(自分は老人ではないぞ...)従って主催内容以前に老人クラブを町のコミュニティーの重要な部分と位置づけるならば市と連動した〇〇才以上の人は取りあえず全員登録する手法とか、ネーミングを変えるとか知恵が必要と思われます。
- 2、10月第2週に町内祭り時町内役員の協力のもと以前は、男御輿、女御輿とありましたが子供減少の為、男女合同で御輿をかついで子供達がひもにつかまり町内を練り歩く。
- 3、老人クラブには入会しています(過去にあった行事)『忘年会・新年会』いずれも楽しく過ごせました

3 子供会等主催

- 1、七夕会
- 2、子供の人数が減少して役員をするお母様達の人数も少なくて行事も減少しているのが現状です。
- 3、猿渡川の舟下り他、(祭り・七夕・クリスマス)

4 その他

- 1、公園の整備→「トイレ」について、公園にある「トイレ」の維持はコストも大変であり、もっと整理して残した「トイレ」の維持管理をしっかりとしたら如何か? [例 安城市] 又は同時に「トイレマップ」を作り住民に知らせる事も必要。

※ こんなことをしたら良いな思っ居られたら何でも結構です書いて下さい。

- 1、幼老運動会
- 2、私の様に賃貸で住む人々には町の情報はまったく入ってこないです、町内会に入っていない人程地域のつながりを感じて生活し知立に愛着をもち、町内会に入る先がけ作りのためにも情報発信する必要があるかも知れません、様々な弱者は町内会に入っていない人ほど多いかも知れません。
- 3、知立南小学校には“オヤジ”の会がありませんが、学校と云うより地域コミュニティで支えられる“オヤジ”の会をつくり子供達を見守れたらと思います。
- 4、殆んどの方々(主に主婦)は家庭内で過されています。町内対抗のバレーボール大会・カラオケ大会・ソフトボール大会などあったら挑戦される方も多と思います、企画をお願いいたします

知立市まちづくり委員会 プロジェクトシート（Cグループ）

日時点	27年2月25日
メンバー	兼子しづ江 藤井敏彦 松川正弘 山中邦康 渡辺博樹
大きなテーマ	住民の手でまちづくりを進める知立づくり

取組のタイトル	フェイスブックを活用した新たなコミュニケーション
現状	<p>昔とくらべ住民間の交流が気薄になったとよくいわれております。関わり方については、もちろん人と人が直接交流する事がベストだと断言できるでしょう。しかしながら個人情報保護の過剰化や物騒な事件が発生しているなどの理由で人づきあいに距離を置く方々が増えているのも周知の事実です。反面インターネット回線を通じた交流は増加傾向です。既存のホームページ・掲示板等を革新、新設するのも一つの策だといえます。しかし役所と市民が情報を共有できているかという点で充分とはいえないでしょう。</p> <p>また大局的に捉えると政治的無関心、消極的志向も深刻な問題といえます。そこで知立市として、どのようにして市民に知立市・市政・まちづくりに興味を持って頂き、参加してもらうかという課題のなか、あらゆる媒体を駆使していき、それらの解決や災害対策の強化など市民間と新たな交流の場を作る必要があるのではないのでしょうか。</p>
解決したい課題	<p>1. 【双方向性】</p> <p style="padding-left: 40px;">行政と市民の双方向のコミュニケーションを促すことにより 市民目線の行政を実現できる。 市民と行政の「協働化」</p> <p>2. 【即時性】</p> <p style="padding-left: 40px;">即座に市民に対し情報提供ができる環境へ</p> <p>3. 【公開性】</p> <p style="padding-left: 40px;">透明性の高い行政を実現し、 行政のアカウンタビリティ（説明責任）を高めることができる</p>
解決の方法	<p style="text-align: center;">どこで</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ネット環境のある場所であれば何処でも可能 ・ 知立市に関連または関心が持たれるような場所

どんなことをするか

【Facebook とは】

インターネット回線を使用する双方向で情報受信が可能なアプリケーションです。SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）の一つで（人と人とのつながりの上で、交流する）という意味合いです。実名での登録が基本で個人、団体、施設等、様々な方々が利用しております。写真や文面の投稿が可能で、友人や知り合い同士でつながり、「いいね」ボタン、を介した反応コミュニケーションや投稿に対してのコメント機能、自分以外の投稿をシェアするという機能などが主な使用方法です。いずれも情報を一方から流すだけではなく双方向でのやり取りが可能です。フェイスブックを有効活用し新たなコミュニケーションツールの一つとして取り組む。

【新たな取り組みとして成功させるためには】

1. この取組みを誰が先陣を切るかという事を明確にする事が最も重要ですそれは知立市が先導なのか、市民先導なのかという二者択一です市が先導となる場合はプロジェクトに関わる主体とその役割は以下のとおりです。
2. 市民が先導となる場合は必須条件として知立市に協力市民の公募をお願い致します。この取組についてはモラルを持ち公正、公平な意見発信をできる方であれば募集人数の上限はありません。そうした知立まちづくり委員を中心に関連団体との交渉や市民広報的な役割を担います。
3. フェイスブックに登録・立上げを行う事は5分程度で可能ですしかし活きた情報交換をする場にするためには相応の働きかけが必須です方法として魅力あるページづくりを主体にコメントやシェア機能を活用し能動的に情報発信していく事です。そのような活用をする団体・施設・個人などが連携し相乗効果をあげていく事も重要です。

【投稿機能の内容案】

市長あいさつ・催し事・祭事・表彰発表・市民篤行者発表・知立よいところ写真コンテスト・天候・選挙・市議会内容・衛生関連・防災・まちづくり・市営住宅・公売情報・歴史関連・特産品・ボランティア関連 等「何気ない情報も公開することで行政を身近に感じてもらうこと」これも一つの取り組みとなります。

プロジェクトに関わる主体とその役割	※該当する箇所に、各主体の役割を記載して下さい。	
	まちづくり委員会の役割	<ul style="list-style-type: none"> ・未登録の方はフェイスブックを新設する（名称は知立まちづくり委員など） ・知立市又は知立市民に関連した投稿をする （営利を中心とした投稿をしてはならない） ・市民が取組むまちづくり情報を中心に投稿をして知立市にシェアやコメントを頂けるようにしてゆく <p><例>活動報告・まちづくり参加市民を募集する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループページを活用し活動内容の打合せ等を行う ・団体、施設に新たにフェイスブックページを新設してもらうよう働きかける
	地域組織・市民活動団体などの役割	<ul style="list-style-type: none"> ・未登録の場合フェイスブックを新設する（組織、施設名など） ・知立市又は知立市民に関連した投稿をする （営利を中心とした投稿をしてはならない） ・投稿に対し知立市、関連団体からシェアまたはコメントを頂けるよう努める
	市民の役割	<ul style="list-style-type: none"> ・未登録の方はフェイスブックの新設をする ・知立市の情報投稿に注目し積極的な活動をする ・コメント等行う場合、公的な場と心得て健全、公平、建設的な意見をする ・知立市に関連した投稿を自ら行う （営利を中心とした投稿をしてはならない）
企業の役割	<ul style="list-style-type: none"> ・未登録の場合フェイスブックを新設する（企業名など） ・知立市又は知立市民に関連した投稿をする ・営利を中心とした投稿をしてはならない ・投稿に対し知立市、関連団体からシェアまたはコメントを頂けるよう努める 	

行政の役割

- ・フェイスブックを新設する（名称は知立市など）
- ・広報ちりゅう、知立市のホームページ等でPRをする
- ・ホームページ上でフェイスブックをリンクさせる
- ・市が率先してフェイスブック内で投稿をする
- ・グループページ等を活用して市民にアンケートをとる
〈例〉市長あいさつ・催し事・祭事・表彰発表・市民篤行者発表・天候・選挙・市議会内容・衛生関連・防災・まちづくり・市営住宅・公売情報・歴史関連・特産品・ボランティア関連 等
- ・市民に知立市を身近に感じてもらえるような投稿を心掛ける
- ・知立市関連でフェイスブックを既に活用している施設、団体と連携する
- ・団体、施設に新たにフェイスブックページを新設してもらうよう働きかける
- ・新設の件は市長、市議会、町内会、市役所、部署又は個人ごとも含む
- ・参加団体、施設の投稿に対し知立市が積極的にシェア、コメント機能を活用して情報発信の厚みを図る
- ・市民との意見交換を率先しておこなう
- ・モラル情報等の管理
- ・情報の発信、受信だけに留まらずダイレクトメッセージに物事が解決もしくは発展するよう心掛ける

知立市まちづくり委員会 プロジェクトシート（Cグループ）

日時点	27年2月25日
メンバー	兼子しづ江 藤井敏彦 松川正弘 山中邦康 渡辺博樹
大きなテーマ	住民の手でまちづくりを進める知立づくり

取組のタイトル	市民でつくる海拔表示
現状	<p>東日本大震災以降、津波、洪水による人的被害を危惧する声が国民に浸透している昨今、我がまち知立の防災意識はどうでしょうか。政府が掲げる地震防災対策特別措置法（※資料1）における災害対策を印刷物で配布、掲示するという点において知立市洪水ハザードマップなどがあげられます。ところが住民に周知させるように努めなければいけない。という条文に対し取組は充分だといえるのでしょうか。東日本大震災後、被災地住民の防災ハザードマップの認知率が20%（※資料2）という結果。認知率の低さは災害対策を持ちあわせていないのに等しく、甚大な被害数に比例したのではないのでしょうか。これは行政任せにしている住民意識も理由の一つにあがるのも事実です。ここで住民先導のもと行政機関等と連携を図り、自らが進んで防災対策、防災意識を周知させる取組みをする事が解決の一步になるのではないのでしょうか。しかし海拔表示を設置するにあつたても現状のまちづくり委員だけでは人員不足です。計画を実現するためには多くの賛同者と共に行動に移す事からはじまります。（※資料3）</p>
解決したい課題	<ol style="list-style-type: none"> 1. 【市民と行政の協働化】 行政まかせから住民連携の防災対策を行い、 住民の手でまちづくりを進める知立づくりにしてゆく 2. 【市民の防災情報認知率アップ】 防災表示を市民が率先して取り組む事で、それらに携わる→見る→聞く人へと波及させていけるようにする 3. 【防災対策の細分化】 地域ごとに考え・行動できるよう細分化された防災対策へ
解決の 方法 どこで	<ul style="list-style-type: none"> ・安心安全課・土木課等など担当部署と打合せが可能な会議室等 ・まちづくり委員、参画市民が集う会議室 ・防災表示設置場所（危険スポット・避難先施設等）

	<p>どんなことをするか</p>	<p>(仮題) 市民でつくる防災・海拔表示</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 【まちづくり協力市民の増員】 知立市が窓口となって、まちづくり協力市民を公募する 2. 【市民先導の防災・海拔表示】 市民先導で防災表示を手掛ける事で安全なまち知立 防災意識の高い知立市を内外にアピールする だれもが分かる・知っている防災情報へ 3. 【多角的・能動的な知立市づくり】 いま実現させるためにはどのような方法で進行するか 人・物・予算・場所など現状はこうだが、この方法ならできる という考えで進行していくようにする
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">プロジェクトに関わる主体とその役割</p>	<p>※該当する箇所に、各主体の役割を記載して下さい。</p>	
	<p>まちづくり委員会の役割</p>	<p>【主に交渉役に徹する】</p> <p>行政に対して：実行（協力）委員の公募をして頂きメンバーの増員をする 防災関連のデータ開示・設置許可・設置予算確保等の交渉等</p> <p>企業に対して：予算状況により設置資材・設置作業の援助を募る</p> <p>市民に対して：公募者と共に役割、進行方法を決定する</p>
	<p>地域組織・市民活動団体などの役割</p>	<p>進行状況により協力を求める</p>
	<p>市民の役割</p>	<p>【まちづくり実行（協力）委員に応募し活動して頂く】</p> <p>【案】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調査班 10 名程度（設置場所・設置方法、掲示内容等） ・交渉班 3 名程度（設置場所・設置方法、掲示内容等） ・制作・設置班 15 名程度 <p>上記の役割は掛けもち可能なため合計人数として 15 人程のメンバー構成で実現可能と考えます</p>
	<p>企業の役割</p>	<p>進行状況、予算等によって海拔（防災）表示に使用する資材提供・設置協力をお願いします。</p>

行政の役割

1. 【協力市民の公募】

ホームページ・広報ちりゅう等でまちづくり実行委員の増員公募を大々的にお願い致します。(公募様式は市の出版物として相応しい内容となるよう添削等ご協力をお願い致します)

2. 【情報開示】

海拔・標高・防災関連データの調査協力の徹底をお願い致します

3. 【設置許可】

設置にあたり前向きな承諾をお願い致します

4. 【予算協力】

予算申請があった場合、前向きな協力体制でお願い致します

知立市まちづくり委員会 プロジェクトシート (C グループ)

日時点	2015 年 2 月 25 日
メンバー	兼子しづ江 藤井敏彦 松川正弘 山中邦康 渡辺博樹
大きなテーマ	住民の手でまちづくりを進める知立づくり

取組のタイトル	朝市(仮称)開催 (みんなが参加できる地域活動の推進)
現状	<ul style="list-style-type: none"> * 町内でのコミュニケーションが不足している * 野菜を育てている人は野菜を消費出来なく近所の人に分けている。 * JA での地元の野菜は安くて人気がある * 野菜の個人の販売量が少なくて売れば多少の収入になる * 野菜を育てている人に例えば山菜等をとってきたときあげると後に野菜をくれたりする(昔ながらの助け合い) * 百姓をしている人は健康的 * 家の近くで 1 回/週でも近所で取れた安価で安心安全な野菜を販売すれば収入にもなるし世代関係なく買いに来てくれコミュニケーションが活発になり地域との繋がりが感じられるのでは、特に世代間を超えたコミュニケーションが活発になると思われる。 * これからますます税・社会保障の負担がふえるがお金・物は確実に減る。お互い助け合い幸福感を感じる持続可能な取組をしなければいけない
解決したい課題	<ul style="list-style-type: none"> * 市民のコミュニケーションが出来ていない (特に若い世代と高齢者) * コミュニケーションが必要という意見が多いが効果的な手段がない * 近い将来、税・社会保障の負担が多くなり疲弊した世界になる恐れがあり、幸福度の感じられる取組が必要(昭和 30・40 年代のようなお互いが助け合って生きていく) * ボランティア活動では続かない、お互いに利益のある有償ボランティアのような取組みが必要
解決の方法	<p>どこで</p> <ul style="list-style-type: none"> * 各町の公民館等でまずモデル地区で実施 将来 知立市の道の駅になりうる取組にしたい。刈谷のハイウェイオアシスは海老名 SA に次ぐ 2 番目の売り上げを達成した実績もあり立地条件としては知立市の方がよい R23・R419・R1・R155 と優位性はある。 将来収入は減るなか高速道路は無料化にならず、R23 が浜名バypass と繋がれば日本中を見てもこんなに立地条件のいいところは少ないこのチャンス将来活かすしかない

	<p>どんなことを するか</p>	<p>* 朝市の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 各個人が育てた野菜・果物等、各個人が捕ってきたもの（魚貝類、山菜等）販売 ・ 安心・安全であり値段が安ければ全世代買いに来てコミュニケーションが進む ・ コミュニケーションが進むとお互いに助けあえる環境が整う ・ 地産地消が進み、これから収入減(年金額減)が予想される中、多少の収入になる
--	------------------------------	--

<p>※該当する箇所に、各主体の役割を記載して下さい。</p>		
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">プロジェクトに関わる主体とその役割</p>	<p>まちづくり委員会の役割</p>	<ul style="list-style-type: none"> * 企画・運営方法プロデュース * 自ら実践、活動、参加、宣伝 * 進捗状況確認（市各課担当部署、依頼しているところ）
	<p>地域組織・市民活動団体などの役割</p>	<ul style="list-style-type: none"> * 場所の提供 * 宣伝 * 備品の貸出 * 広報 * アスモル知立、バザール知立との連携
	<p>市民の役割</p>	<ul style="list-style-type: none"> * 販売品の提供・販売 * 集まった人への積極的なコミュニケーション * お互いに助け合う * この仕組みを育てていこうという努力(なるべくここで購入)
	<p>企業の役割</p>	<ul style="list-style-type: none"> * スポンサー * 協賛品の提供 * 企業も店を出して自分の会社と商品を PR
	<p>行政の役割</p>	<ul style="list-style-type: none"> * 広報・PR * 備品・場所の提供(情報)

知立市まちづくり委員会 プロジェクトシート (C グループ)

日時点	2015 年 2 月 25 日
メンバー	兼子しづ江 藤井敏彦 松川正弘 山中邦康 渡辺博樹
大きなテーマ	住民の手で街づくりを進める知立づくり

取組のタイトル	廃棄物を使用したカブトムシ飼育による環境リサイクル (若者による地域活動の推進)	
現状	<ul style="list-style-type: none"> * 環境リサイクルを喜んで体験出来る所が無い * 環境リサイクル行っているところが少ない * 環境リサイクル何をしたいかわかってない 	
解決したい課題	<ul style="list-style-type: none"> * 子供の教育に地域が関わりにくい感じがする * 身近にあるものを教育に生かされていないと思われる * 先人達の知恵が伝承されにくい環境である * 子供たちが喜ぶ事で環境リサイクルを体験させたい * 親・高齢者を巻き込む事でコミュニケーションが活発になる * カブトムシ育てて売って資金を得る、廃棄物リサイクルで野菜・花を育てる体験をして将来の役に立つ取組にしたい 	
解決の方法	どこで	<ul style="list-style-type: none"> * とりあえず来迎寺小学校で 将来は全小学校・中学校で取り組みたい
	どんなことをするか	<ul style="list-style-type: none"> * 落葉(廃棄物)を使用したカブトムシ飼育による環境リサイクル <ul style="list-style-type: none"> ・ 落葉(廃棄物燃えるゴミ)を肥料に ・ カブトムシは子供に人気があり、進んでやりたくなり子供、親、高齢者と協力して活動しやすい ・ 世代間のコミュニケーションが進み地域の絆が強くなる ・ 来迎寺小学校で環境は整っている、アスエル知立との連携も出来る環境にある。

プロジェクトに関わる主体とその役割	※該当する箇所に、各主体の役割を記載して下さい。	
	まちづくり委員会の役割	<ul style="list-style-type: none"> * 企画・運営方法プロデュース * 自ら実践、活動、参加、宣伝 * 進捗状況確認 * この取組の講師として子供たちに教える * アスエル知立の運営 SNS に取組を投稿

<p>地域組織・市民活動団体などの役割</p>	<ul style="list-style-type: none"> * 場所の提供 * 宣伝 * 備品の貸出 * 広報 * アスエル知立、バザール知立との連携
<p>市民の役割</p>	<ul style="list-style-type: none"> * 販売品の提供・販売 * 集まった人への積極的なコミュニケーション * この仕組みを育てていこうという努力 * カブトムシの購入 * 差し入れ(子供たちにお菓子など) * この取組の講師として子供たちに教える
<p>企業の役割</p>	<ul style="list-style-type: none"> * スポンサー * カブトムシの購入及び販路の紹介 * 備品の寄付
<p>行政の役割</p>	<ul style="list-style-type: none"> * 取組の紹介 * 学校の授業に織り込む * 落葉、雑草のリサイクル推進 リサイクル推進するところに補助金

知立市まちづくり委員会 プロジェクトシート (D グループ)総括表

日時点	2015 年 02 月 25 日
メンバー	清水、杉原、丸谷、服部、柿原
大きなテーマ	<p>地域で子どもを育む知立づくり</p> <p><目指す地域の姿> 1.子どもは「地域の子供」として一緒に育てていく意識づくり</p> <p>2.子どもの知立市への愛着、生きる力、豊かな心を育む地域の場づくり</p> <p>3子育てをサポートする地域づくり</p>

取組のタイトル	<p>I. 子どもが地域で生きる力を育む機会の拡充</p> <p>II. 子育て、親育ちをサポートする居場所づくり</p> <p>III. 支援者を得るための活動</p>
現状	<p>近年、全国的に核家族化の進行、働き方の多様化等で家庭での教育力が低下しており、子どもの成長に様々な問題が生じている。本市もその例外ではない。そのため、子ども自ら考え工夫するような体験、多様な世代との交流の場や機会を設けることが急務となっている。本市では、そのような機会として、よいとこ祭り、市民マラソン、町対抗運動会等様々なイベントが企画されているが、各々年1回の開催であり、<u>多様な世代との継続的な、そして子どもが地域の方と名前呼び合えるような密度の濃い関係性までには発展していない。</u>また、市内のいくつかの町では定期的に公民館でサロンを開催しているところもあるが参加者を高齢者に限定しており、<u>子どもたちが様々な知識・体験を豊富に持った高齢者と接し、学ぶ機会とはなっていない。</u></p> <p>一方で、高齢者も最近では、退職後に自宅に引きこもったり、同年代の友人と出かけるにしても喫茶店で時間を潰したりと、地域の子供たちと触れ合う機会がほとんどない方も多い。子供たちにとって、様々な知識・経験を豊富に持ったこのような人生の大先輩と触れ合い学ぶことができない現状は実にもったいないことであるし、<u>高齢者にとっても子どもたちと有効に時間を使い、生きがいを持って生きることができれば、精神面、身体面でも健康にとってプラスに働くはずであり、介護予防の観点からもメリットは大きいと考えられる。</u>子供と高齢者が集える居場所としては、我々が見学したいいくつかの例のように気軽に立ち寄れるコミュニティカフェのような場が望ましいと考える。</p> <p>また、子供たちにとっては、高齢者だけでなく、社会の一員である精神・知的・身体障害者との接点を持って成長していくことの重要性もあると考えられる。<u>現在の市の障害者施策では、地域の子供たちと触れ合う機会がほとんどない。</u>そのため、我々の考える居場所には障害者の方々にも参加してもらう必要があると考えられる。これは障害者にとっても社会復帰の場のひとつとなるであろう。</p>

さらに、全国的に母親の子育て不安の増加、虐待認知件数の増加が懸念されており、本市においても子育て中の親たちが安心して子どもを育む事ができるよう重点的に様々な取り組みが行われているが、不安を多く抱える母親の声を広く拾い上げることができているかわからない。市内の大型施設では慈善事業として子育て相談室を週1回開催し、子育て中の母親への育児相談等を行っており、買い物帰りに立ち寄れる気軽さから毎回多くの相談者が列を作って相談に訪れている。

上記背景に基づき D グループは下記の個別施策を立案、状況調査、検討を図る

- ①牛田八幡社、祭礼の保育園児及び小学校児童の見学体験学習
- ②愛教大生の学生による小学校児童への課外学習
- ③スーパー「アピタ」内子育て相談室とのコラボレーションによる子育て支援体制の拡充
- ④コミュニティーカフェの創設
- ⑤公園の増設（重原公園をモデルとして）
- ⑥知立市ボランティアセンターとのコンタクト

上記6項目を重要度、緊急度、難易度、実現性等精査し、「高齢者のひきこもり、孤独感解消」「子どもの躓、育児の不安解消、教育力の向上」「障がい者の社会復帰」「子どもと大人、高齢者との交流の機会増大」を目的として、あらゆる主体との協働推進を基本として、グループとしての取り組むべき個別施策を下記3項目に絞り、活動する事とした

設定項目) ①、③、④項

尚、②、⑤、⑥項は継続検討テーマとして取り扱う

※ ①、③、④項の解決策等については別紙資料にて説明する。

知立市まちづくり委員会 プロジェクトシート (D グループ)個別施策項目①

日時点	2015 年 02 月 25 日
メンバー	清水、柿原、杉原、服部、丸谷
大きなテーマ	地域で子どもを育む知立づくり

取組のタイトル		「牛田八幡社祭礼時の保育園児及び小学校児童の見学体験学習」
現状 (目標) (現在までの活動)		園児、児童に氏神さんの祭礼を少しでも知ってもらい、その後に父兄達にも活動が広がり、町全体での人の交流が広がる事をイメージ。その活動を通じて、八幡社はゆうに及ばず他の神社でも本活動が広がり、結果として、知名度が向上、ひいては知立市の活性化を目標とする。 12/13 口頭で町内役員に報告 2/ 3 平成 27 年度日程表を町内保育園に提示 2/12 社会教育審議会委員との面談 意見を伺う 町内会の役員からは非公式ながら了解は得ている。今後は当事者の園児、児童達の参加が大きな宿題となる。
解決したい課題		<ul style="list-style-type: none"> ・土曜日開催の祭礼に対しての園児、児童の参加が図れるか。 ・神社の知名度向上という目的にどう融合させるか。 ・父兄を初めとする大人達の参加をどう展開するか。
解決の方法	どこで	
	どんなことをするか	<ul style="list-style-type: none"> ・土曜日の対応が難しい場合、保育園、小学校の単位でなく地域子供会の活動計画の一環として折衝する。 ・その場合、来迎寺コミュニティー協議会及び教育委員会との話し合いも必要 ・本計画が具現化した場合、広く PR する為に、“KATCH” による撮影と放映が出来るように対応する ・他の学区、神社にて本計画が広く知れわたり、活動が活性化出来るよう広報活動を推進する。

<p>※該当する箇所に、各主体の役割を記載して下さい。</p>	
<p>プロジェクトに関わる主体とその役割</p>	<p>まちづくり委員会の役割</p> <p>・Bグループ、Cグループ活動と主旨が重なる部分がある。関連する活動をお互いにタイアップして進め度い。</p>
	<p>地域組織・市民活動団体などの役割</p> <p>・牛田町、来迎寺コミュニティー協議会、子供会連絡会等の協力を求める。</p>
	<p>市民の役割</p> <p>・市民、町民の積極的な参画を求める。その為には広報活動が重要。</p>
	<p>企業の役割</p> <p>・企業で勤務する従業員に祭礼時にお参りされる様に、牛田町、八幡社より依頼する。</p>
	<p>行政の役割</p> <p>・計画及び実施に於いて、広く市民に情報の提供と広報活動をお願いする。</p>

知立市まちづくり委員会 プロジェクトシート (D グループ)個別施策項目③

日時点	2015 年 02 月 25 日
メンバー	清水、柿原、杉原、服部、丸谷
大きなテーマ	地域で子どもを育む知立づくり

取組のタイトル	「スーパーアピタ内子育て相談室とのコラボレーションによる子育て支援体制の拡充」	
現状 (目標)	<p>①現在、公的な育児相談は、知立市保健センターや子育て支援センター等で十分に行われているが、実施場所や時間に制限がある。母親がもっと身近でもっと気楽に相談できる場の創設を目指す。</p> <p>②しかしながら、施設の創設は容易ではないため、アピタ内で実施している育児相談室（保健師1名が毎週金曜日、正午～午後4時まで、身長/体重測定、育児相談等を実施中）との協働を目指す。</p> <p>③具体的には、育児相談室の空間や相談員、相談日時等の拡充や育児相談だけでなく、母親、子ども同士の交流が図れる場づくりを目指し、買い物ついでにふらっと気楽に立ち寄れる場所とする。</p>	
解決したい課題	<ul style="list-style-type: none"> ・企業、市民、行政が協働して作り上げるモデルを目指す ・アピタの経営方針、中期事業計画の中での判断を仰ぐ。そのためには、商工会を通じ てアピタと接触し、アピタの意向を確認する必要がある。 ・行政の種々な形態での支援を期待する。 	
解決の方法	どこで	
	どんなことをするか	<p>【具体的行動実績】</p> <p>12/5 アピタ内子育て相談室見学</p> <p>1/23 商工会事務局長に面談 主旨説明と全面的な支援を要請</p> <p>2/12 商工会理事会にて事務局長よりアピタ管理者に対し、本件の概要を説明</p>

プロジェクトに関わる主体とその役割	※該当する箇所に、各主体の役割を記載して下さい。	
	まちづくり委員会 の役割	次年度の個別施策の実行にあたり、多くの賛同者が参加し易いチームづくり。例えば、プロジェクトチーム、タスクチーム、研究（実行）チームの発足。
	地域組織・市民活動団体 などの役割	商工会、福祉協議会、地域市民活動団体よりの情報提供、アドバイス等の支援を期待する。
	市民 の役割	多くの子育て中のお母さんはもとより、本趣旨に賛同してくれる全ての市民の集合を期待する。
	企業 の役割	アピタへは、場所、相談員、相談時間や利用時間の拡充を依頼する。また、アピタ及びその他の企業へは、従業員やその家族の積極的な利用を声かける。 子育て中の親子が利用する店舗にはチラシを設置し、周知を依頼する。
行政 の役割	アピタへ協働の依頼と同時に、主旨への賛同が得られ見通しがついた場合に、人材あるいは資金面の補助など全面的な支援を求める。 アピタでの子育て相談室について市民だより等へ掲載依頼。	

知立市まちづくり委員会 プロジェクトシート (D グループ)個別施策項目④

日時点	2015 年 02 月 25 日
メンバー	清水、柿原、杉原、服部、丸谷
大きなテーマ	地域で子どもを育む知立づくり

取組のタイトル	コミュニティーカフェの創設 ～スローガン『乳幼児から高齢者までを!』～
現状（目標）	<p>①現在、知立市では公民館等を利用して子ども向け、高齢者向けの居場所は別々に存在するが、子供から高齢者まで一同に利用でき、年代を縦につなぐような居場所はない。赤ちゃんから高齢者が利用でき、いつ誰が来ても、いつ帰っても自由であり、家でも学校及び職場でもない第3の居場所づくりを目指す。そのようなコミュニティーカフェは子供たちにとっては、かけがえのない遊び場、体験の場となり生きる力を育む場となるであろうし、母親にとっては子育てのノウハウを自然と得られる場となるであろう。さらに、障害者にとっては社会復帰の場に、高齢者にとっては、精神的、身体的、社会的健康につながるであろう。</p> <p>②コミュニティーカフェの開設場所として、既存の公的施設がまずその第1候補としてあがるが、利用時間や利用方法等に制約があるため、毎日開設するのは困難である。また、たくさんの利用者を見込むのであれば人通りが多く、利便性のいい場所が好ましい。これらの条件や家賃等を踏まえ、コミュニティーカフェは立地条件の良い空き家を使用したい。</p> <p>③具体的な事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食事、喫茶の提供 ・一人暮らし高齢者向けの弁当の配送（宅配） ・高齢者（人生の先輩）が保有するスキル、技能、知識（おもちゃ病院、釣り具作り、ミシンかけ体験、野菜作り等）を子どもたちに伝授し交流できる場 <p>④法人格を取得することで、活動の輪を広げ、運営を効率よく行えるようにする。</p>
解決したい課題 (課題を解決する為の行動)	<p>場の確保（入手）、運営資金の調達、人材（スタッフ/技能を有する専門家/賛同者）の確保が課題となるため以下の活動を行う。</p> <p>①行政、商工会、市民活動グループに情報の提供と支援を求める。</p> <p>②社会福祉協議会、ボランティア市民活動センターに、情報の提供と協働できる団体、グループの紹介を依頼する。</p> <p>③施設立ち上げの為の体制が整わない場合は、計画の縮小または、暫定対応として取りあえず行動を起こす</p>

解決の方法	どこで							
	どんなことをするか	<p>【具体的行動実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・10/24 名古屋市“クニハウス”訪問 代表者と面談 精神障害者を含めた居場所づくりの重要性について説明を受ける。 ・12/5 大府市“ふれあいの居場所みどり”訪問 代表者と面談 活動理念、活動方針及び設立から運営までの苦労話を入手 我々の目標と合致する処が多く参考に する ・12/11 知立市福祉協議会、ボランティア活動センター訪問 福祉に関わるニーズ、及びボランティア活動状況情報を入手 ・12/26 グループ有志にて中間纏め実施 ・1/30 知立市内の空き家2軒見学 ・2/6 知立市内の空き家1軒見学 ・2/11 グループ有志にて最終計画の纏めの為、ミーティング ・2/19 知立市ボランティア活動センター連絡会議オブ出席 ・2/20 知多市 南粕屋ハウス訪問 代表者と面談 ・3/8 塩尻市と知立市の交流会にパネリストとして、グループメンバー（丸谷）出席予定 <p>表 見学したコミュニティーカフェの特徴</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%; padding: 5px;"> クニハウス (名古屋市) </td> <td style="padding: 5px;"> 講座はほとんど開催せず、あえて何もしないことをモットーにしている。 健全者、精神患者の境を作らない空間としている。 </td> </tr> <tr> <td style="width: 30%; padding: 5px;"> ふれあいの居場所 みどり (大府市) </td> <td style="padding: 5px;"> 荒廃した畑で男性高齢者が耕作し、収穫物でランチを提供している。 利用者が有償ボランティアの援助者にも被援助者にもなって支え合う仕組みである。 </td> </tr> <tr> <td style="width: 30%; padding: 5px;"> 南粕屋ハウス (知多市) </td> <td style="padding: 5px;"> 地区組織の上部団体であるコミュニティーが基盤となっており、法人格としないことで自由度を手に入れている。 居場所を常設したことで、人と人がつながる場所となっており、困り事の相談を受けやすくなった。その解決には無償ボランティアが対応しているが、人材には困っていない。 </td> </tr> </table>	クニハウス (名古屋市)	講座はほとんど開催せず、あえて何もしないことをモットーにしている。 健全者、精神患者の境を作らない空間としている。	ふれあいの居場所 みどり (大府市)	荒廃した畑で男性高齢者が耕作し、収穫物でランチを提供している。 利用者が有償ボランティアの援助者にも被援助者にもなって支え合う仕組みである。	南粕屋ハウス (知多市)	地区組織の上部団体であるコミュニティーが基盤となっており、法人格としないことで自由度を手に入れている。 居場所を常設したことで、人と人がつながる場所となっており、困り事の相談を受けやすくなった。その解決には無償ボランティアが対応しているが、人材には困っていない。
	クニハウス (名古屋市)	講座はほとんど開催せず、あえて何もしないことをモットーにしている。 健全者、精神患者の境を作らない空間としている。						
ふれあいの居場所 みどり (大府市)	荒廃した畑で男性高齢者が耕作し、収穫物でランチを提供している。 利用者が有償ボランティアの援助者にも被援助者にもなって支え合う仕組みである。							
南粕屋ハウス (知多市)	地区組織の上部団体であるコミュニティーが基盤となっており、法人格としないことで自由度を手に入れている。 居場所を常設したことで、人と人がつながる場所となっており、困り事の相談を受けやすくなった。その解決には無償ボランティアが対応しているが、人材には困っていない。							

<p>※該当する箇所に、各主体の役割を記載して下さい。</p>	
<p>プロジェクトに関わる主体とその役割</p>	<p>まちづくり委員会の役割</p>
	<p>次年度よりの具体的な活動に向けて、より多くの賛同者が参加し、計画がスムーズに運ぶ様に、チーム編成の為の募集を活性化してほしい。</p>
	<p>地域組織・市民活動団体などの役割</p>
	<p>社会福祉協議会、ボランティア活動センターを始めとして、ボランティアグループ、NPO 法人等の諸団体よりの情報提供とノウハウの提供をお願いしたい</p>
	<p>市民の役割</p>
<p>一緒に行動して頂ける賛同者、ファンとして一人でも多くの市民の方に参加をお願いしたい</p>	
<p>企業の役割</p>	
<p>計画の趣旨をあらゆる機会を通して理解を得て、賛助金、寄付金として出資をお願いしたい</p>	
<p>行政の役割</p>	
<p>設立時の資金調達支援、運営後の補助金の拠出支援を全面的にお願いする</p>	